

# きょうと福祉倶楽部だより

## 2019年 5号

### バリアフリー2019に参加しました

4月18日から20日の日程で大阪南港のインテックス大阪で「バリアフリー2019」が開催されました。19日に参加してきました。

この催しは西日本で最大の介護、医療に関する商品の展示会です。きょうと福祉倶楽部では誰か出られる人が出来る限り毎年参加をしています。

ここで見つけた商品が利用者の生活に役立つ事もあります。

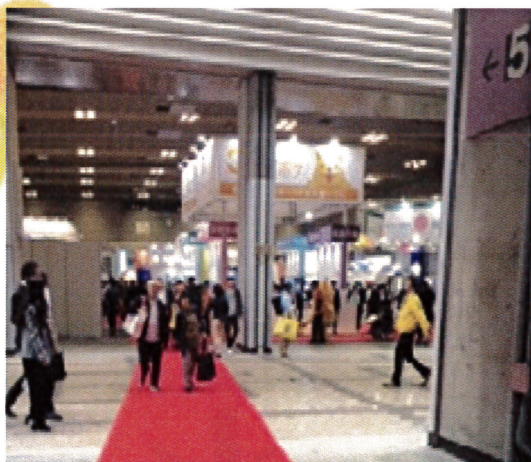
そして日頃の業務に役立つ商品もあります。

同時に日頃利用している商品の弱点を製造元に伝えることなど様々な提案もします。その提案が生かされてさらに良い商品ができる。

今年もそんな出会いがあることを願っての参加です。

そんな大切な展示会ですが、残念な事があります。

高齢者はどんどん増えていく時代なのに規模がどんどん縮小されているのです。



毎年展示会に出展している企業の方、もう数十年うちとお付き合いがあります。彼との会話「今年は展示スペースを半分にした」と。

その理由は「売れない」からです。介護保険制度が始まった2000年にはひしめき合うほどの人と展示。介護先進国からの出展もありました。いまやその片鱗を感じることもありません。

2000年に東京の国際福祉機器展で出会ったスウェーデンのベッドメーカーの女性との会話を思い出しました。

彼女の会社は介護保険が始まる日本に商機があると思い日本に進出しました。でも売れません。

彼女は問います。「なぜ売れないのか」と。生存権保障を国家の責任として介護を考えるスウェーデンと日本の「受益者負担主義」の違いを説明する中でやっと彼女は理解出来たようです。

そして数年で日本から撤退…。

こんな状況で年々小さくなる展示会ではありますが成果もありました。今年の注目商品はこれです！(昔の展示会ならあれもこれもといくつも紹介出来たのですが)

パーキンソンなどの「すくみ足」の改善を目的にした商品が今年は目をひきました。

これまでだと人の手で書き込んでいたラインをまたぐ事でやっていた「訓練」をわざわざ書き込まないで同じ効果を生むことを目的にした商品です。

特許取得済

Qピット  
身体装着型 移動支援機器

パーキンソン病などによる  
“すくみ足”を

視覚 CUE 聴覚 CUE

Wでサポート

本製品は、厚生労働省から実施団体とされた公益財団法人テクノエイド協会が実施する「障害者自立支援機器等開発促進事業」を活用し、開発された機器です。

Qピットをご購入にあたって、障害者総合支援法の日常生活用具給付事業等(移動・移乗支援用具)の給付を受けることができます。お住まいの市町村の窓口にご相談ください。 ※市町村により給付を受けられない場合があります。障害者等については、法令に定める範囲に限り。

これは身体障害者の日常生活用具として一部費用が行政から支給されます。しかしさだめられた基準額が商品価格に満たないためある程度の負担が生じます。それでもこの器具がうまく使えて利用の方が安全に動けるようになったならとても嬉しいことではありませんか？

もうすぐ長岡京市の職員さんときょうと福祉倶楽部を利用されている方でお試しをしてみます。良い結果が出ることを今から期待しています！



有限会社 おとくに福祉研究所  
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824  
長岡京市天神 4 丁目 7-12 ハイッ  
東台 101 号  
TEL 075-958-2560  
FAX 075-957-2808  
E-mail info@fukushi-club.com